

公表: 令和5年 12月 実施

事業所名 放課後等デイサービスLEIF旭川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	4	・今の利用者数を考えると広さが足りないように感じる。 ・少し狭く感じている。児童の気分が高揚してクールダウンが必要になった時に個別対応できる部屋がない(常時空いている部屋)。 ・利用する体育館によっては、利用者に対してスペースが小さい場合がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	3	2	・職員体調不良者が出た場合に急な対応が必要になるときがある。 ・送迎に出しまうと、一人の職員が複数人を見ることになるので適切とは言えない。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3	1	・徐々にユニバーサルデザインを意識した配置にしてきている。 ・トイレなど段差がないようになっている。 ・現在、バリアフリーが必要となる児童がいないため。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	2		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		1	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	5	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	2		・外部の研修に参加できていない。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1		・しっかりとアセスメントが出来ているのか不安。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		・ツールの利用はほとんどしていないと思われる。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	1	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	1	・個別支援計画には個別対応もあるが、実際は行っていない時がある。 ・サッカー療育では集団活動がメインのため、個別に対応しきれない場合がある。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2	0	・毎朝申し送りを行なっているが、サッカーの活動内容まで打ち合わせしきれしていない。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	0	・翌日に行なっている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1		・小まめに目標を設定しており、それが達成されていけば、次の目標にしており、定期的に見直しは行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	2	5		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切	6	1		・学校との連絡調整は行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	2	・現在、医療ケアを必要とする児童がいないため。 ・医療的ケアが必要な児童は受け入れていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		4	3	・現在は行なっていなかったが、これから行っていきたいと考えている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	4	・小学校で卒業になっているので、その先につなげる機会がない。 ・小学生のみを受け入れているため、障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	3	・特定のものが療育の柱となっているので、助言を受けるのは難しいのかもしれないが、研修は今後受けていきたいと考えている。 ・連盟からの研修案内に目を通し、可能な範囲で参加をしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	6	・現在は全くない。 ・法人内で採井するサッカースクールとの共同イベントなどの開催も今後行えるのではと考える。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	3	・開催時間が営業時間と重なっているため、参加は難しい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	2		・送迎時に行なっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	5	・忙しい保護者も多いので行なっていない。 ・保護者会を行なった際に講演会を行いたい。 ・ペアレント・トレーニングは出来ておらず、保護者の悩みに寄り添うことが出来ていない。
保護者への説明	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援して	6	1		・昨年度は2回参観日のようなものを行っており、保護者同士が話す時間も設けた。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応し	6	1		
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		・行事等の出来事をまとめた通信を月に一回配布している。また、行事予定を事前に配布している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7			
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	2		・全て言葉での伝達になっており、配慮は足りないと思われる。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		6	・デイとしては、地域住民を招待できるほどの行事を企画していない。 ・縁日などは、地域住民との交流イベントなどにできると感じる。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	2	3	・作成はしているが、周知までに至っていない。 ・保護者への周知が足りていない。 ・職員や保護者への周知が不足している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	1	・行われているが、定期的ではない。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3		・今後行う予定。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	5		・現在、身体拘束が必要となっている児童がいないため。 ・契約時等に説明しており、基本身体拘束はないと考えているので、計画に記載することはしていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	6		・食品を扱う際に保護者へアレルギーの確認は行っているが、医師からの指示所などの提示はもらっていない。 ・現在、医師の指示が必要な食物アレルギーを持つ児童が通所していない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	4	2	・ヒヤリハットの意識が希薄であると思われ、何がヒヤリハットに該当するのかを理解していない可能性が見受けられる。 ・ヒヤリハットは共有されているが、事例集としてまとめて

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。